

## 将来像と5つの政策目標

第6期雄武町総合計画では、将来像（めざす町の姿）を「～郷土愛で築く～次世代へ躍進するまち・雄武」と決めました。わが町の「地域力」には、毛ガニやサケ、ホタテなどを柱とした「海の恵み」と、広大な山林、酪農地帯を舞台にした「山の恵み」、そして定住・交流人口による「人の恵み」があります。そして、こうした「恵み」を「次の世代へ」、確かにつないでいくためのまちづくりが求められています。このため、分野ごとの政策目標を「5つの感」で表し、各分野の施策・事業を推進し、将来像の実現をめざします。

【将来像】

【政策目標】

～郷土愛で築く～

次世代へ躍進するまち・雄武

### 1 躍動感あふれる産業のまち・雄武

～地域産業の振興と雇用の創出～



- ◆ 地域産業の成長による所得の向上と雇用の創出を図ります。
- ◆ 「モノづくり力」を高め、力強い雄武ブランド産品を生産します。
- ◆ 海、山、人の地域資源の活用・融合を図ります。

### 2 安心感の持てる福祉のまち・雄武

～保健・医療・福祉の充実～



- ◆ まちぐるみの見守り、子育て、健康づくりを進めます。
- ◆ 安心して利用できる医療・介護・障がい者福祉サービスの充実に努めます。

### 3 達成感から学ぶ教育のまち・雄武

～教育文化の振興と拠点づくり～



- ◆ 生きる力、学ぶ意欲を育成します。
- ◆ 町民による学習・スポーツ活動を通じ、地域文化の創造と、そのための拠点づくりを推進します。
- ◆ 町民が多様な文化にふれる機会を増やし、豊かな創造力を育てます。

### 4 快適感を満たす環境のまち・雄武

～生活環境・生活基盤の充実～



- ◆ 恵まれた自然環境を、後世に残します。
- ◆ 安全・快適に暮らせるまちづくりを進めます。

### 5 連帯感を高める協働のまち・雄武

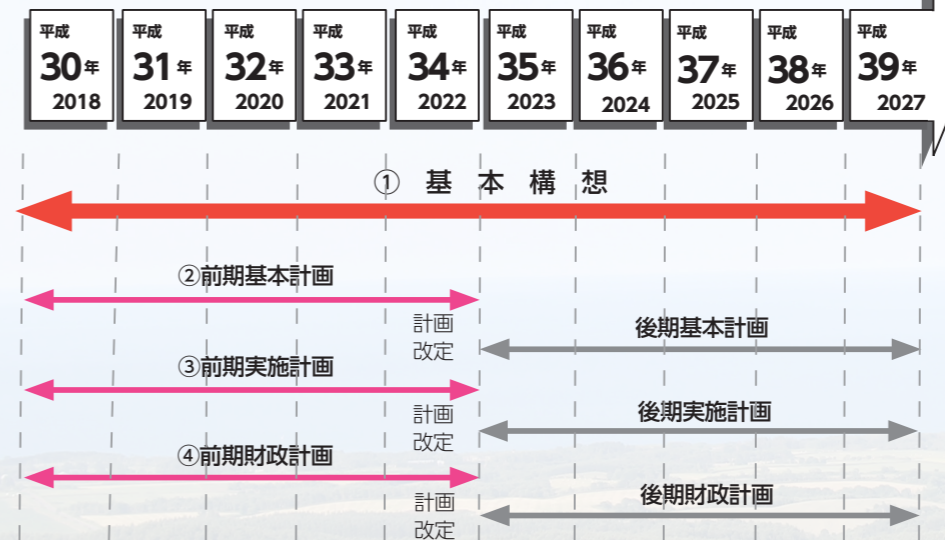
～協働によるまちづくりの推進～



- ◆ 町民と行政が共に考え、共に創るまちを築きます。
- ◆ 行政資源を有効に活用する行財政運営を行います。



第6期雄武町総合計画の期間と構成



構成区分	内容
① 基本構想	平成39年度までの町の将来像を展望し、その基本政策を示します。
② 基本計画	基本構想に示した将来像の実現を図るための5年間の施策を体系化、具体化します。
③ 実施計画	基本計画に定めた施策を具現化するための事業を位置づけ、各年度の予算編成の基本指針とします。
④ 財政計画	実施計画に定めた事業を着実に実施するため、計画期間内の収支見込みを策定時点において示します。

平成30年4月から「第6期雄武町総合計画」がスタートしました。総合計画は本町の最上位計画であり、「まちづくりの経営指針」となるもので、平成30年度から10年間の「基本構想」、5年間の「前期基本計画」「前期実施計画」「前期財政計画」の4層構造になっています。

計画策定にあたっては、各年代から抽出した町民の皆さん1,500人を対象とした「まちづくりアンケート」や、各分野で専門的知識を有する町民23人で構成する「総合計画策定審議会（河島仁会長）」での審議などを踏まえ、昨年12月議会に提案し、特別委員会での審査を経て、本年3月議会において議決されました。

# 第6期 雄武町総合計画がスタート

～郷土愛で築く～「おうむ」次世代躍進プラン